

だいじょぶ にゃん通信 vol.10

のぞみホームは1993年7月1日にこの地に生まれ30歳になりました！

目次

- 【特集】のぞみホームの30歳に寄せて
- のぞみホームの新スタッフさん
- 民生委員さん紹介
- みんなのハウス 開放中

のぞみホームは2023年7月で30歳



のぞみホーム30周年過ぎちゃいました。

"住み慣れた地域のなかで、誰もがその人らしく、暮らし続けることを支援するため"

のぞみ会理事長
渡辺 みゆき

始まりから30年たった今もずっとお金がない、30年前の制度がない時期を乗り越えて。本人と家族すべて丸ごと支えている日々。30年といわれても、そうなんだーと思われる人は多いと思う。のぞみホームはそこにあって当たり前の存在。ご利用者さんもスタッフもまったりと過ごしている。その中で支援の内容は一人一人その方に合わせて、小さな仕草も感じ取るスタッフがいるから安心して過ごせる。

少しでもいい環境にといろいろ考えたり変えてみたりでも信念は曲げず。通常の日々 世間がどうのこうのでも変わらず。世界はコロナー色の時も。

「あの～30年過ぎちゃって。通信だすんですが、600

字でお願いします」って、いつもの奥山さん。「えっ、30年！すごいね。すごい歴史。奥山さんが書いたあの本！もう一度読みたいから貸して」とお願いし感動しながら読み込む。ぜひこれは読んでほしい。

「のぞみホームの静かな力(著者 奥山久美子)」ボランティアしたいと訪れたとこでするするとい言いは失礼ですが、のぞみホームを開所し支え起動に乗せるためにどんなに悩んだか。あつという間だったのか？そんなことはない。今日も様々なご利用者の方やご家族の相談を受け「その人らしく暮らし続けられるように」寄り添っている。やがてのぞみホームは40年過ぎちゃいましたとなるのかな～。

30年って……

のぞみホーム施設長・看護師
奥山 久美子

「のぞみホーム」30年。

えー。私も30歳年をとったということ？

細かい字が見えにくくなったり、おなかに脂肪が付いたりしてるのはそのせいだったのか。

身体のあちこちに年月相当の変化は見られますが、のぞみホームに対する想いは30年前となにも変わっていません。「認知症になっても障害があってもその人らしく過ごせる場所、ここで最期を迎えられてよかった。と思ってもらえるような場所であること。」これが「のぞみホーム」の理念です

そしてここ何年か前から、「ばあちゃんが世話になったんだけど今度は自分の番だよ」と利用している方や「前

に祖母が世話になったけど今度は母親をお願いしたい」とか「うちの両親がお世話になったんだけど、今度は旦那がお世話になれないかしら。」などの相談があったりします。30年も経つと以前は介護をしていた人が介護されるがわになり、そしてまた「のぞみホーム」を利用したいと言ってくれる。なんかすごくないですか。

私も親の介護がはじまり、色んなことができなくなっていくお年寄りの気持ちや介護者の大変さがとてもよくわかるようになりました。

スタッフも「のぞみホーム」の理念を共有し、ほとんどの者が10年から20年以上になります。みんな長いこと働いてくれ心強い仲間です。そんなスタッフ達と一緒にこれからもなおさら丁寧に丁寧にお年寄りやご家族と関わっていきたいと思っています。

生まれて31年！

のぞみホームを応援する会 井上 洋一

のぞみホームが生まれて31年！！なんだかついこの間だったような気がします。

ぶっつけ本番の火災避難訓練時の思い出。手作りのタンカに四人がかりで乗せ外へ出したり、窓際の人布団のまま！車椅子を押したり、手を握って歩いて外へ出た人もいました。何が起きたかショックで身体が強ばり動けなくなった人もいました。そんな中、のぞみスタッフの方々の日頃の信頼関係があったからすぐに落ち着きを取り戻してくれました。消防隊員のこんな時はこうする！の指導が終わり、ホームに帰る頃はみんなで遠足に行った気分でホームに戻ってくれました。

これから先も安らぎに満ちたホームを応援します！！

これからも一員として

のぞみホームを応援する会 木村 次郎

「へえー！ もう31年も経ったのかぁ」と思うばかりです。20代前半の若き女性が「施設を作るので駐車場の場所を貸してほしい」と宇井俊一さんとウチへ来訪、父が応対、道路沿いの雑木林を貸すことに。「のぞみホームを応援する会」の人たちと伐採し、約10台分の駐車場を造成しました。その後資源物を収集したり、かけやでアルミ缶をつぶしたりして支援しました。また、防災訓練をし人工呼吸の訓練、認知症の方の対応もしたり、勉強にもなりました。年末には餅つきもやるようになりました。その後会を一時解散しましたが今では新たにペットボトルの収集等を始め支援しています。

これからも一員として協力して行きたいと思います。

スタッフの一員

のぞみホーム介護福祉士 藤平

平家の民家で庭の真ん中に木蓮の木。

雑木林の奥にあった小さなのぞみホームは30年でずいぶん大きくなりましたね。その間、いろんな人に支えられてきたのはもちろんですが家は動物にも支えられていたと思っています。初代のチャトラのアンとサバ白のサンボの兄弟猫は立派なスタッフの一員でした。特にサンボはそわそわしだした利用者さんの気持ちを落ち着かせるのが上手でした。「背中さわっていいよ」とでも言うように寄り添ってくれるのです。しっぽをにぎられても怒らずじっとがまんしてくれる。何度感謝したことでしょう。アンは夜勤の心細い時スタッフに寄り添ってくれるやさしい猫でした。

のぞみに和んだ時間が流れていたのは彼らがいてくれたからだと思っています。アンとサンボの後もにゃじ、によじなどなど、ホームのどこかに猫がいて和ませてくれました。そして犬のバース、ネーロ、ロッキーもちゃんとスタッフの一員だったと思います。皆ありがとう。

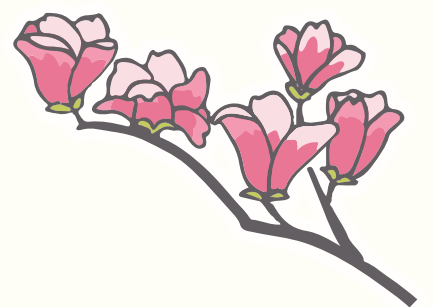
はやくも四半世紀

医療法人アスミス理事長 太田

のぞみホームとのお付き合いは、介護保険制度が始まったころで、はやくも四半世紀。医療法人アスミスは、奥山さんの情熱と行動力に共感して、医療からサポートさせていただいています。のぞみホームの思想と哲学を学び、制度が後追いしていますが、日本中にのぞみホームが広がると、日本の高齢者たちは、もっと幸せになると信じています。これからも利用者に寄り添い温かいケアの提供を続けてほしいと願っています。



応援する会主催の餅つき大会！



のぞみホームの30年に寄せて

30歳おめでとうございます

のぞみ会理事 高橋

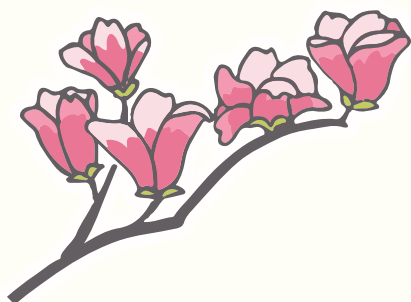
人間で30年といえ一世代、ファミリーヒストリーを語れる長さです。生まれたときは、未熟児と言っていいほどひ弱なのぞみホームでした。いまや働き盛りの壮年です。これまでも決して順風満帆ではなかったけれど、底知れぬ強さを持っている気がします。

応援してくださった方々のおかげです。これからも、のぞみらしくまったりと共に歩いていきましょう。

いつまでも 元気で快適に

作業療法士 春原
柔道整復師・看護師

30年おめでとうございます。
のぞみホームとのお付き合いも約30年。過ぎれば早いものです。週4回訪問し、微力ながら主に身体機能面の低下している方に運動やマッサージを行っています。少しでもモチベーションや日常の生活動作の維持向上をすることで、いつまでも元気で快適な生活を送っていただきたいと思います。これからも地域ののぞみホームとして益々のご活躍を期待します。



あっという間でした

のぞみホーム准看護師 谷原

小さな貸家から始まった「のぞみホーム」は、お年寄りへの思い入れと寄り添う姿勢がずっと続いてきました。たくさんの方に出会い、バザーやみんなのハウスの板壁を柿渋で塗ったり、楽しかったです。

今年7月で31年目とか。あっという間でした。私も七月でまた一つ歳を取り、利用者さんの気持ちに近づいてきています。

「のぞみホーム」バンザイ！です。

おめでとうございます

のぞみホーム介護福祉士 篠原

30周年おめでとうございます。その内2/3くらい関われたことに感謝しています。50年、60年と続くことを祈念しております。

これからも

「その人らしい生活を」

のぞみホーム介護福祉士 奥山(茂)

宅老所から始まり、現在はNPO法人ののぞみホームに至っていますが、ここまでののに決して平坦な道のりではなかったと思います。施設長の奥山をはじめ、これまで携わってくださった利用者のご家族の皆さま、福祉関係者の皆さま、ボランティアの皆さま、そして地域の皆様のご協力があったからこそ、今現在ののぞみホームが存在しているのだと思います。

これからも「その人らしい生活を」をモットーに「のぞみに住んで幸せだった」と言われるよう、試行錯誤、創意工夫をしながら日々努力して参りますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

穏やかな時間を

のぞみホーム介護福祉士 大輪

20年前より、のぞみホームに携わらせていただき、利用者の方々と穏やかな時間を過ごすことができる環境に感謝しています。30周年、おめでとうございます。

のぞみホームも壮年期

田上財務会計事務所 前所長 田上 中

のぞみホームが発足して31年目を迎えたことは、とても嬉しく思います。私が当初ののぞみホームと関係を持ったのは、知己の淀川さんが、奥山さんとその事業を紹介してくださったことが始まりで、会計事務所として支援してきました。現在は92歳となり、現役からは離れております。

余談になりますが、私の事務所と自宅の間の庭に、私が旧自宅から移植した銀杏が幹回り150センチの大木となって庭一杯に枝を広げています。のぞみホームも壮年期となり、地域社会の中で力強い活動を展開されますよう、ご期待いたします。

思い出に残るのは…

のぞみホーム介護員 山口(美)

私がのぞみホームでの介護の仕事に携わり22年になります。

様々な人たちの出会いの中で思い出に残るのは利用者さんとの散歩でした。あいづちを打ちながらホームへと誘導して歩くのですが曲がり角で曲がりそびれると再び散歩は続き、ホームへの道は遠のいてしまうのです。

1時間弱を目安に歩いても戻れそうにないなと思ったところで、ホームに連絡を入れ場所を伝えて車で迎えに来て貰うことも多々ありました。随分と若い時だったので、健康面に良かったかなと懐かしく思っています。

自分の母親ものぞみで看取って頂きとても感謝しています。

今では介護するよりもされる側に近づき、いずれはお世話になるのかなと思いながらものぞみホームという頼れる存在がいつまでも続くことを希望しながら、体の動く限り皆さんに迷惑がかからないように頑張っていきたいと思っています。

ますます頼もしいホームに

のぞみホーム介護員 篠崎

今思えばボランティアからのスタートでした。

いつの間にかスタッフになり、バザーのお手伝い、温泉旅行やお花見、暮れの餅つき会、クリスマス会など共に利用者と楽しく過ごし、自分が励まされているな～と感じながら個性豊かなあったかいスタッフとつながり、あっという間に数十年が経ちました。

新しいスタッフにも恵まれ、ますます頼もしいホームになることでしょう。

山あり、谷あり

のぞみホーム看護師 坂入

設立31年おめでとうございます。

これまでには、山あり、谷あり、良いこと、苦勞されたこと、多々あったことでしょう。開設当時のスタッフの皆さま、ご支援いただいた地域の方々、ご苦勞さまでした。

さて、私が「のぞみホーム」と出会うことができたのは21年前、母の介護で戸惑っていた時に暖かく迎え入れてくださった時でした。本当、「神さま、仏さま」の気持ちでいっぱいだったと思います。ありがとうございました。

あれから10年たち、現在私も一スタッフとして勤めさせていただいていますが、感謝の気持ちを忘れずに、今後ますます成長、発展されること、ご利用者誰にとっても生涯居心地のいいホームにしていけることを期待し、少しでも貢献していくことができたらと考えます。

不思議な偶然に感謝

のぞみホーム会計スタッフ 淀川

設立当初より、収入支出金額を追いかけてきましたが、その間資金難に陥ることもありました。しかしその都度無利子で融資とか、寄付などが舞い込み、不思議な偶然に感謝するばかりでした。考えてみると、のぞみホームを立ち上げたときの想いが今も引き継がれていることを理解してくださる方々がいらっしゃるのだと思っています。

30年おめでとうございます

のぞみホーム利用者 鈴木 恵子

30年おめでとうございます。

私の母親がお世話になり、母は93歳まで元気でいました。庭のもくれんの木を見ると思い出し、いつも見て頑張っています。今度私は私がスタッフの皆さんにお世話になりながら毎日過ごしています。母も毎日迎えの車を待っていたけど、今は娘の私が毎日待っています。いつまでももくれんの木のように伸びてください。

のぞみのある楽しい場所

のぞみホーム社会福祉主事 中田

30年間いろいろな物語があったと思います。これからも『その人らしく生き生きと』をモットーに！ お年寄りや地域の方々、そしてスタッフの皆さんにとって、"のぞみのある楽しい場所"でありますように。

のぞみホームに感謝です。

継続していけるよう

のぞみホーム介護福祉士 山口(さ)

31年目おめでとうございます！ 私の年齢とあまり変わらない年月を地域に密着した施設として続けてこられたのは奥山さんをはじめスタッフの皆さんの努力の結果だと思います。これから40年、50年と継続していけるように微力ながら頑張っていきたいと思います。

のぞみホームの
新スタッフさん

おめでとうございます

のぞみホーム介護員 田中

のぞみホーム30周年おめでとうございます。

入居者の皆さまが穏やかに過ごされていて、私も楽しく出勤しています。

綺麗な花籠が届いていて、思わず写真に撮りました。

これからも健康に

のぞみホーム雑務スタッフ 両角

のぞみホームでスタッフとして仕事を始めて16年6ヶ月になりました。

これからも健康に気をつけて続けられるようにがんばります。

のぞみホームの
新スタッフさん

ひとつひとつ

のぞみホーム介護福祉士 塩沢

ひとつひとつ積み重ね、いろいろあった30年間。31年目より関わること嬉しく思います。

ご利用者さまが住み慣れた地域で顔なじみのスタッフと、その人らしく生活していけるよう支援していきます。

のぞみホームのあゆみ

1993	のぞみホーム誕生
1994	“のぞみホームを応援する会”発足 ホームヘルプや食事サービス開始
1997	栃木県単独補助“高齢者デイホーム”に
2000	介護保険制度開始・NPO法人取得
2001	認知症介護指導者研修受講
2003	“なんちゃってのぞみ”開設
2009	“みんなのハウス”オープン “だいじょぶにゃん通信”第一号発行

2014	徘徊SOSネットワーク模擬訓練
2015	介護保険制度の改正により地域密着型通所介護事業所へ
2017	自主事業の「お泊まり」の部分が住宅型有料老人ホームに 現代国際巨匠絵画展を開催
2019	みんなのハウスの活動内容リニューアル 応援する会、再結成
2022	のぞみ荘始動
2023	のぞみホーム30歳



山口さゆり

のぞみホームの
新スタッフさん

山形から栃木に移り住み早2年……。子育てをしながら仕事をしていこう、グループホームに勤務した経験を生かせるところはないかと……。探していたところ出会ったのが「のぞみホーム」でした。いざ勤務してみると、施設の違い、言葉の違い(笑)に戸惑いつつも勤務してきて……。やっと馴染んできたのかな？と感じております。

利用者さんの個性に合わせた寄り添う介護をスタッフの皆さんと共にアドバイスを頂きつつしていきたいと思います。



塩沢美子

のぞみホームの
新スタッフさん

のぞみホームのスタッフとして関わり、早半年が過ぎました。

私は物作りが好きで趣味の一つ吊るし雛を作りました。4人目の孫の初節句祝いに健康、成長の願いを込め義祖母の100歳のお祝いに健康長寿の願いを込めました。今までの経験を生かし利用者本位、寄り添う介護で支援していきます。よろしくお願いします。



みんなの頼れるご近所さん

民生委員さん

民生委員は、地域福祉をお手伝いする身近な相談相手です。ご相談ごと、ご心配ごとがありましたら、一緒に考え、解決できるように微力ですがお手伝いできたらと思います。散歩の時などお会いした時に、気軽にお声をかけていただき、楽しいお話しもできたら大変嬉しいです。(民生委員 平沼・福富)

みんなの
ハウス
開放中



地域の方が無料でお使いいただけます

みんなのハウスは地域の中で誰もが身近に気軽に集える場所。大人も子供も楽しい時間をお過ごしください。

★のぞみホームを応援する会からの支援金をみんなのハウスの運営に役立てています。

だいじょぶにゃん通信

発行 特定非営利活動法人のぞみ会
六美南部地区の地域福祉を考える会
〒321-0216 栃木県壬生町壬生丁145-10
TEL 0282-82-7204 FAX 0282-82-7254
発行人 渡辺 みゆき
編集 だいじょぶにゃん通信 編集部 奥山 久美子
協力 六美南部地区自治会
のぞみホームを応援する会
URL <http://www.nozomi-h.org>
MAIL nozomi-h@guitar.ocn.ne.jp

編集後記

今回の「にゃん通信」は「のぞみホーム30周年記念号」にて読みごたえバッチリ。

「にゃん通信」読んで疲れた頭や身体を癒しにぜひ「みんなのハウス」をご利用ください。

今後とも「のぞみホーム」をよろしくお願い致します。

奥山